

気象庁観測点整備に伴うボーリングコア解析結果と平成 24 年度の予定

気象庁では平成 23 年度から年次計画で既設観測点の更新を進めており、このうち傾斜計更新による観測井製作のため、浅間山 3 箇所ではボーリングコアを採取した。

火山噴火予知連絡会では、気象庁の孔井型火山観測施設の整備に伴い採取されたボーリングコアの解析について、平成 21 年 8 月に「コア解析グループ」を設置し、全国 47 地点分の解析を行っている。平成 23 年 3 月に同グループは解散しているが、平成 23 年度に採取されたボーリングコアの解析についても、同グループの主査並びに浅間山担当者に協力を依頼した。

平成 23 年度のコア解析結果並びに平成 24 年度の気象庁観測点整備に伴う掘削予定について、次のとおり報告する。

1. コア解析について

コア試料は浅間山 1 火山の 3 箇所分であり、すべてのコアを採取した後、(独)産業技術総合研究所に搬入し、一次記載を行った。

解析結果からは、掘削深度が 30m と浅かったこともあり、新たな噴出物は得られなかったが、主に前掛火山岩類に属する火砕流堆積物や土石流堆積物が採取された。

2. コア解析結果及び試料の取り扱い

今年度の解析成果は、報告書の刊行は行わないが、気象庁ホームページに昨年度までの結果に追加して公開する。

コア試料については、火山噴火予知研究及び火山防災対策に役立てるため、(独)産業技術総合研究所のコアライブラリーに試料登録する。

3. 平成 24 年度の観測点整備に伴う掘削予定

平成 24 年度については、有珠山 1 地点 (30m コア掘削)、霧島山 5 地点 (100 m コア 2 箇所、30m コア 3 地点) で掘削を予定している。掘削場所については、H24 ボーリングコア採取地点を参照。

※ 気象庁ホームページ：コア解析グループ成果報告書の掲載ページ
<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/STOCK/kaisetsu/CCPVE/CCPVE07.html>